

《競技注意事項》

この大会は、2020年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項ならびにオホーツク中体連大会規定、監督会議の申し合わせ事項により実施する。

1. 招集

- (1) 競技者は、出場種目の招集終了時刻までに、本部棟横の招集掲示板にて、アスリートビブス（ナンバーカード）に○印をつける。棄権の場合は×印をつける。その後、招集終了時刻の5分後までにスタート・試技場へ移動し、出発係及び跳躍・投てき審判員に出場する種目・組・レーン（試技順）の点呼（確認）を受ける。混成競技者も同様に、スタート・試技場において係から点呼を受ける。
- (2) 招集終了時刻は次の通りとする。

*トラック競技の決勝のみの種目については、競技日程を確認すること。

	ラウンド	予選		準決勝・決勝
トラック競技	競技開始時刻	1～5組	20分前	10分前
フィールド競技	走幅跳	競技開始時刻		30分前
	走高跳・砲丸投・ジャベリックロー	競技開始時刻		30分前
	棒高跳	競技開始時刻		40分前
混成競技	競技開始時刻	トラック10分前・フィールド15分前		

- (3) 招集に遅れた者の出場は認めない。
- (4) 競技進行上、競技開始時刻に多少の変更もあり得るので、アナウンスを聞き漏らさないよう注意すること。
- (5) 招集完了後、スタート・試技場で待機し、勝手にその場を離れてはならない。移動は係の指示に従う。
- (6) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。オーダー用紙は、競技者係に備えている。（本部棟1階倉庫内）
- (7) アスリートビブス（ナンバーカード）は、縫いつけるか安全ピンで確実に止めること。（跳躍競技については、胸部または背部のいずれかでよい）
- (8) トラック競技の出場者は、招集の際、出発係より、腰ナンバーカード（シール）を受け、ランニングパンツの右腰やや後方に取り付ける。

2. レーン・競技順

- (1) プログラムの記載の上から下へ番号順とする。ただし、四種競技は、種目ごとに試技順が違うのでプログラムで確認すること。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝レーン順のみ、番組編成員で公平に抽選し、本部棟横に設置した記録掲示板に掲示する。また、アナウンスを聞くこと。

3. トラック競技

- (1) タイムにより、次のラウンドの出場者を決める際に、同成績者がある場合は、競技規則第167条2を適用する。
- (2) 本大会のスタートについては、第162条5を適用せず、不適切行為を注意とする。但し、不適切行為が繰り返し行われたり、悪質なものは第125条5および第145条2を適用し、失格とする。
- (3) 写真判定のための腰ナンバーカード（シール）を使用するが、リレーの場合は、第4走者のみとする。

4. フィールド競技

- (1) 走高跳・棒高跳・走幅跳
 - ① 走高跳は男子・女子ともに決勝のみとし、バーの上げ方は次の通りとする。
 【男子】練習：1m10-1m25-1m50 決勝：1m15～1m55までは5cm上がり、以降3cm上がりとする。
 【女子】練習：1m05-1m20-1m35 決勝：1m10～1m35までは5cm上がり、以降3cm上がりとする。
 - ② 棒高跳は決勝のみとし、バーの上げ方は次の通りとする。
 【男子】練習：1m60-2m40-3m00-3m40 決勝：1m80～2m20までは20cm上がり、以降10cm上がりとする。
 - ③ 第1位が2名以上の場合、順位決定のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cm単位とする。
- (2) 混成競技
 - ① 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。
 【男子】練習：1m10-1m25-1m45 決勝：1m10～1m55までは5cm上がり 以降3cm上がりとする。
 【女子】練習：1m05-1m20-1m35 決勝：1m05～1m30までは5cm上がり 以降3cm上がりとする。
 - ② 最終種目は、それまでの成績順により番組編成を行う。（出場人数による）
- (3) 助力
 - ① コーチングエリアは設置しない。

5. 競技について

- (1) 競技者・監督といえども、その競技に出場する者以外は競技場内に入ることはできない。
- (2) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンに沿って走り、前後左右の

安全を確認してからレーンを出ること。

- (3) リレー競技のマーカ―使用は1箇所とする。使用したマーカ―は、そのチームで処理する。
- (4) リレーチームの編成メンバーについては、競技規則第170条10を適用する。
- (5) 棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を練習のときに担当審判員に申し出ること。
- (6) 抗議と上訴については、競技規則146条に従い、監督が総務(専門委員長)を通じて行う。

6. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具器具は、棒高跳のポール以外、全て主催者が準備したものを使用しなければならない。
- (2) 個人使用のポールは、検定を受けて合格したもののみ使用できる。ポールの検定は、棒高跳ピットで跳躍審判員が行う。

7. 練習について

- (1) アップについては、指定された場所以外は使用しないこと。
- (2) ホームストレート競技の際、バックストレートを使用してもよいが、競技役員の指示に従うこと。

8. 服装・競技用靴について

- (1) 服装(ユニホーム)
 - ① 競技の服装は清潔であり、かつ競技に適したものとする。
 - ② リレー競技については、同一のものとし、ランニングパンツ又はハーフタイツのどちらかに統一すること。
 - ③ 身だしなみ(髪型、染色、脱色、ピアスなど)については各学校で十分に指導すること。
(特別な事情がある場合、顧問が説明できること。)
 - ④ アクセサリー(ネックレス等)類は、身につけないこと。
- (2) スパイク
 - ① 競技用靴の靴底及び踵は、11本以内のスパイクを取り付けられる構造とする。11本以内であれば、何本でもよい。
 - ② スパイクの長さは9mmを超えてはならない。また走高跳の場合は、12mmを超えてはならない。

9. 表彰

- (1) 各種目の8位までの入賞者に賞状を授与する。(表彰式は行わないので各校顧問が受取りに来ること)
- (2) 各種目の1位にはバッチを授与する。(但し、地区奨励種目のジャベリックスロー・円盤投は除く)

10. その他

- (1) 選手に事故があった時などは、大会本部に連絡すること。
- (2) 正面スタンド前(本部席前)は通行禁止とする。また、正面スタンド側にテントを張らないこと。
- (3) 貴重品については各学校が管理し、盗難にあっても責任は負いかねるので注意すること。
- (4) 携帯電話その他類似の機器を競技場内で所持及び使用することを禁止とする。
- (5) 大会中は、ゴミの持ち帰り、テント跡の清掃を必ずすること。
- (6) 開場は両日とも午前8時とする。この時間前に競技場内に入らないこと。